

平成29年2月10日

各 位

会社名 ワイエスフード株式会社
 代表者名 代表取締役社長 緒方正憲
 (JASDAQ・コード番号3358)
 問合せ先 取締役管理本部長 岩下征吾
 TEL 0947-32-7382

**営業外損益（為替差益及びデリバティブ評価損）及び特別損失（減損損失）の計上
 並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、平成29年2月10日開催の取締役会において、平成29年3月期第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）における営業外損益及び特別損失の計上についてお知らせするとともに、平成28年11月10日付にて開示しました、平成29年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

1. 営業外損益（為替差益及びデリバティブ評価損）の内容

当第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日～平成28年12月31日）において、円安の進行により外貨建て資産・負債に関連して6百万円の為替差益を営業外収益に、為替予約に係るデリバティブ評価損6百万円を営業外費用に計上いたしました。

2. 固定資産の減損損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有している固定資産の一部について減損処理を行うもので、賃貸用ビルの老朽化及び賃貸借契約満了等により閉店が確定した店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当第3四半期連結会計期間において、減損損失45百万円を特別損失として計上いたします。

なお、賃貸用ビルにつきましては、老朽化に伴い当該建物の残存簿価での除却損のほか、現時点で見込まれる解体撤去費用等を含み、減損損失として計上しております。

3. 平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,857	35	27	11	3.03
今回修正予想(B)	1,770	△30	△40	△98	△25.38
増減額(B-A)	△86	△65	△67	△110	
増減率(%)	△4.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	1,806	△2	△35	△7	△1.87

(2) 修正の理由

(連結業績予想の修正)

連結売上高につきましては、海外事業における店舗数の増加に伴う食材出荷が増加したものの、国内直営店及びF C店舗において、「平成28年熊本地震」の影響に加え、リオデジャネイロオリンピック及び台風等の影響による外食控え等の影響により、第2四半期連結累計期間における繁忙期の来店客数の減少に伴う売上高の減収を取り戻すために、地元ラジオ局とのタイアップ企画による新メニューの導入及び行楽シーズンに各市町村にて開催されるイベントへの屋台出店に加え、外販事業において当社オリジナル生ラーメンセットをはじめとする、お歳暮・冬のギフトセット『山小屋からの贈り物』の実施といった、新たな収益源の獲得に向け様々な施策に取り組んでまいりましたが、当第3四半期連結会計期間での売上高の改善が図れなかったことから、通期連結業績予想における売上高は、86百万円程度下回る見込みとなりました。

また、利益面におきましては、連結子会社である「株式会社日本美容研究所」において、国内最大級のファッションイベントである「TGC KITAKYUSHU 2016 by TOKYO GIRLS COLLECTION」への出展を行い、プライベートブランドのブランディング強化を図るための販売促進費用が増加したこと等の影響により、営業利益において65百万円、経常利益67百万円程度、また、上記減損損失の計上の影響等から、当期純利益は110百万円程度計画を下回る見込みであります。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上